

発刊のことば

本市は、昭和38年8月1日に市制を施行し、本年をもって50周年という大きな節目を迎えました。この半世紀の間、社会情勢は大きく変化し、それに伴い本市も変革を続けてまいりました。

この10年を振り返りますと、平成16年には実現しなかったものの、守口市との合併の是非を問うため、初の住民投票が行われました。平成17年以降は門真市行財政改革大綱と2次にわたる門真市行財政改革推進計画に基づき、行財政改革が推進されました。また、平成20年には市民公益活動支援センターが開館し、平成22年には地域通貨「蓮」が発行され、さらに本年には、かどま市民大学が開校されるなど、公民協働をキーワードとしたまちづくりが推し進められてまいりました。このように、この10年間は本市の発展の新たな段階であったと考えております。

市議会といたしましても、これらの推進に当たり活発な審議を行うとともに、議会改革として議員定数や報酬の削減を初め、開かれた議会の実現に向け、議会だよりやホームページの充実などを図ってまいりました。今後も議員一同、市政の発展のため、一層努めてまいり所存でございます。

本書は、既刊の「門真市議会二十年史」、「門真市議会のあゆみ（昭和58年～平成5年）」、「門真市議会のあゆみ（平成5年～平成15年）」に続き、平成15年から平成25年の間の市議会の足跡を記したものです。

本書が本市のさらなる発展の一助になれば、まことに幸いに存じますとともに、歴代の市長、市議会議員を初め、本市の発展のため力を尽くしてこられた全ての方に敬意と感謝の意を表し、発刊のことばといたします。

平成25年9月

門真市議会議長

平岡 久美子

発刊を祝して

「門真市議会のあゆみ（平成15年～平成25年）」の発刊を心よりお慶び申し上げます。

本市は、昭和38年、高度経済成長期と人口増加の真ただ中、人口6万6582人をもって市制を施行して以来、50年間でのどかな田園風景が広がるまちから利便性の高い商工住が一体となったまちへと大きく様変わりし、府内有数の中堅都市として成長を遂げてまいりました。

その間、市議会の皆様方におかれましては、地方自治の進展と住民福祉の向上に多大なご尽力を賜ってきたところであり、これまでのご労苦に対しまして、深く敬意と謝意を表する次第であります。

50周年を迎え、新たなスタートに立った今、市民の皆様の暮らしを一層豊かにし、幸福度を向上させていくために、また、まちの確固たる発展を展望したとき、市民生活と直結する基礎自治体である市役所の果たすべき役割と課題は無尽蔵にあると思慮いたしております。

そのような中で、過去を振り返り、立ち返ることのできる本書を発刊されましたことは、今後の門真市の発展に大きく寄与するものと確信いたしております。

今後のさらなる10年・20年先を見据えて、皆様に「住んでみたいまち 門真」と言ってもらえるよう持続可能な自律発展都市をめざし取り組んでまいり所存でありますので、市議会の皆様方の変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます、お祝いのことばといたします。

平成25年9月

門真市長

園 部 一 成